

## US PATENT 研究会～US クレームを理解する～第1回開催



大阪発明協会では、会員サービスの一環として実施している会員向け勉強会の新企画といたしまして、日本語クレームと英文クレームの解釈の不一致問題を回避するために、USクレームの基本を知り、クレームを明確に理解することを目的とした「US PATENT 研究会」の第1回研究会を、新樹グローバル・アイピー特許業務法人(以下 GIP)のご協力により、6月20日(水)に開催いたしました。

当日は、定員を超える11名の参加者が集まりました。今回は本研究会の主宰である GIP の原田泉弁護士を中心に、US クレームの基本である「Element by Element」についての説明と共に、開催前に提供された課題に対する参加者からの回答をもとに、参加者とのディスカッションを通じてその課題回答を検討していくという形式で進められました。課題の検討には、ゲスト講師として特許翻訳の専門家である、United IP Management の中村尚子代表にも加わっていただき、米国人の立場からの英文クレーム解釈と、日本語クレームから翻訳された英文クレームの解釈の違い等を、回答事例をもとに指摘、解説していただきました。

次回は、7月18日(水)15時より「MPF(MEANS PLUS FUNCTION)クレームとは？」をテーマに開催予定です。